1 農業振興地域整備計画変更同意年月日 令和7年8月18日 前回整備計画変更同意年月日 (計画全体の変更) (農用地利用計画のみの変更)

2 変更理由

	整備計画の	項目	農用地区域を変更する土地			る土地		同左の	の現況別面積	其		法的根拠等
番号	頁と	平面図	別添図	大字	字	地番	現	除外する	編入する	用途別面積	土地利用計画変更の理由	在認事項
	区域番号	番号	番号				況	土地	土地			作心事!
1	P 6	139	7	榎 木	上月	2009番	田	662 m²	m²	⊞ ▲662	(資材置場)	農掘第 13 条第
	A			町	ウラ					m^2	土地利用計画については、申出	2項各号該当
											地近隣で湖北地域のインフラ整	・第1号 必要か
											備を行う事業者が、事業拡大に伴	つ適当、代替性な
											い既存の資材置き場が手狭にな	l
											ったため拡張するもの。既存敷地	•第2号 地域計
											の近隣で用地確保を検討するも	画の達成に支障
											交渉が整わず、他に適地はない。	なし
											規模については、具体的な土地	・第3号 農業上
											利用計画をもとに必要面積を積	の効率的な利用
											算されており、必要かつ適当であ	に支障なし
											ると認められ、除外面積は過大で	・第4号 農用地
											はない。	利用集積に支障
											また、位置的に農用地区域の縁	なし
											辺部に位置し、所有者が保全管理	·第5号 土地改
											を行う農地である。土地利用計画	良施設の機能に
											及び申出地の現況から、周辺農	対障なし
											地、農作業効率、農地利用集積及	・第6号 土地改
											び土地改良施設機能への支障は	良事業完了後8

											ない。	年経過
											土地改良事業の実施状況を確	
											認した結果、受益地外である。地	
											元自治会及び農業組合等の同意	
											を得ていることから、変更はやむ	
											を得ない。	
2	P 7	139	7	三田	三ノ	647番	畑	156 m²	m²	畑 ▲156	(一般住宅)	農振法第 13 条第
	В			町	窪					m^2	彦根市で暮らしている申出人	2項各号該当
											は、高齢になられる実家の母を支	・第1号 必要か
											えるため、実家の隣地で自身の家	つ適当、代替性な
											族が移り住む住宅の建築を計画	l
											された。	・第2号 地域計
											規模については、具体的な土地	画の達成に支障
											利用計画をもとに必要面積を積	なし
											算しており、必要かつ適当である	•第3号 農業上
											と認められ、除外面積は過大では	の効率的な利用
											ない。	に支障なし
											また、位置的に宅地に接してお	・第4号 農用地
											り、農作業効率や農地利用集積へ	利用集積に支障
											の支障はない。また、土地改良区	なし
											受益地ではないことから、変更は	•第5号 土地改
											やむを得ない。	良施設の機能に
											地元自治会及び農業組合等の	支障なし
											同意を得ていることから、変更は	•第6号 土地改
											やむを得ない。	良事業完了後8

												年経過
3	P 7	132	8	乗倉	下 伊	519番	田	1,891 m²	m²	⊞▲ 2, 764	(駐車場及び工場)	農振法第 13 条第
	В			町	豫町	520番1	田	873 m²		m^2	申出人は、乗倉町で約50年以上	2項各号該当
											製品のスリット加工事業・プレス	•第1号 必要か
											加工事業・自動カッター加工事業	つ適当、代替性な
											を行う事業者である。既存工場の	l
											老朽化及び機械設備の更新等に	•第2号 地蟒計
											より、改築・改修の必要性が発生	画の達成に支障
											したことや、一部県道に資材運搬	なし
											車両を駐車する問題を解消する	·第3号 農業上
											ため駐車場及び工場用地の整備	の効率的な利用
											を計画された。	に支障なし
											規模については、具体的な土地	•第4号 農用地
											利用をもとに必要面積を積算し	利用集積に支障
											ており、必要かつ適当であると認	なし
											められ、除外面積は過大ではな	•第5号 土地改
											V %	良施設の機能に
											また、位置的に水路、道路と面	対障なし
											しており、農作業効率や農地利用	•第6号 土地改
											集積への支障はない。	良事業完了後8
											直近土地改良事業の完了から、	年経過
											8 年以上経過しており、また地元	
											自治会及び農業組合等の同意を	
											得ていることから、変更はやむを	

											得ない。	
4	D. 7	101	7		1/	1100 亚		044 2	2	H 17 005	(中) 十二1日/	曲にいか 10 夕か
4	P 7	131	7	西主	八反		田田田	944 m ²	m²	⊞▲ 7, 985	(駐車場)	農振法第13条第
	В			計町	田	1127番	田	1, 460 m ²		m²	申出人は、電子応用機器・部品	
						1129番	畑	179 m²		畑 ▲ 179 ㎡	及び付属品の製造販売及び製造	
						1131番	田	2, 635 m ²			下請などを営む事業者である。近	つ適当、代替性な
						1132番	田	1, 277 m ²			年、受注量が増加し生産体制の強	l
						1133番	田	1,669 m²			化が必要なため浅井工場(当該地	•第2号 地域計
											隣地)の拡張工事を実施された。	画の達成に支障
											それに伴い従業員が増員するた	なし
											め、駐車場の確保が必要となっ	•第3号 農業上
											た。	の効率的な利用
											計画している駐車場は既存工	に支障なし
											場敷地に近く、また、従来の駐車	•第4号 農用地
											場の東側に隣接しており、近隣に	利用集積に支障
											住居も無いことを考慮し土地の	なし
											選定をされた。	•第5号 土地改
											規模については、具体的な土地	良施設の機能に
											利用計画をもとに必要面積を積	支障なし
											算しており、必要かつ適当である	·第6号 土地改
											と認められ、除外面積は過大では	良事業完了後8
											ない。	年経過
											また、位置的に水路、道路等と	
											面しており、農作業効率や農地利	
											用集積への支障はない。	

											直近土地改良事業の完了から、	
											8年以上経過しており、また地元	
											自治会及び農業組合等の同意を	
											得ていることから、変更はやむを	
											得ない。	
5	P 7	135	7	落 合	平田	476番2	田	1, 773 m²	m^2	▲⊞ 1,773	(資材置場)	農版法第 13 条第
	С			町						m^2	申出人は公共土木・民間事業を	2項各号該当
											請け負う事業者である。今後、経	・第1号 必要か
											営拡大により大型機械導入を計	つ適当、代替性な
											画されており、現在の資材置場が	l
											集落近接であり、また狭小である	•第2号 地蛸
											ため新規の資材置場を計画され	画の達成に支障
											た。	なし
											申出地は、県道香花寺曽根線に	
											面した既設資材倉庫に隣接し一	
											体利用が可能であり、当該地を中	
											心に県道・市道及び民間の除雪拠	
											点としての位置づけを考慮した	
											うえで土地の選定をされた。	なし
											規模については、具体的な土地	
											利用計画をもとに必要面積を積	
											算しており、必要かつ適当である	支障なし
											と認められ、除外面積は過大では	•第6号 土地改
											ない。	良事業完了後8
											また、位置的に水路、道路等と	年経過

		1	1	1		1		1			and the state of t	
											面しており、農作業効率や農地利	
											用集積への支障はない。	
											直近土地改良事業の完了から、	
											8 年以上経過しており、また地元	
											自治会及び農業組合等の同意を	
											得ていることから、変更はやむを	
											得ない。	
6	P 7	130	7	宮部	大場	3030番	田	1, 964 m²	m²	▲田 1,964	(駐車場)	農振法第 13 条第
	D			町						m^2	申出人は、地域の整形外科医療	2項各号該当
											を担う医療法人であり、木之本	・第1号 必要か
											町、西浅井町、余呉町など市北部	つ適当、代替性な
											地域からも多くの患者が来院さ	l
											れており、今後も患者数の増加が	•第2号 地蛸
											見込まれているため、駐車場の拡	画の達成に支障
											張を計画された。	なし
											来院者数が多く、職員用の駐車	・第3号 農業上
											場は院外の別の場所で確保され	の効率的な利用
											ているが、それでも駐車スペース	に支障なし
											が不足していることから、周辺道	•第4号 農用地
											路に路上駐車が発生する状況と	利用集積に支障
											なっている。申出地を駐車場とし	なし
											て拡張することで、来院者が安全	·第5号 土地改
											に来院できるように既存敷地の	良施設の機能に
											近接にて土地を選定された。	支障なし
											規模については、具体的な土地	·第6号 土地改

											利用計画をもとに必要面積を積	良事業完了後8
											算しており、必要かつ適当である	年経過
											と認められ、除外面積は過大では	ווועש
											ない。	
											また、位置的に水路、道路等と	
											面しており、農作業効率や農地利	
											用集積への支障はない。	
											直近土地改良事業の完了から、	
											8年以上経過しており、また地元	
											自治会及び農業組合等の同意を	
											得ていることから、変更はやむを	
											得ない。	
7	P 7	129	7	五村	西ヤ	63番1	田	355 m²	m²	▲田	(駐車場)	農抵第 13 条第
	D				ケヤ	64番	田	755 m²		10, 913 m ²	申出人は、リサイクル廃棄物の	2項各号該当
						65番	田	791 m²			運搬に大型車両 40 台と専用コン	・第1号 必要か
						372番1	田	784 m²			テナ 180 台を保有している事業者	つ適当、代替性な
						373番1	田	981 m²			である。既存のコンテナ置き場に	l
						376番1	田	1, 051 m ²			リサイクル工場の増設を計画さ	•第2号 地蛸
						377番1	田	971 m²			れており、工場を増設する場所に	画の達成に支障
						377番2	田	3, 008 m²			設置していた大型車両及びコン	なし
						378番1	田	1, 107 m²			テナを申出地に移動させるため	•第3号 農業上
						379番1	田田	1, 110 m ²			必要が生じた。	の効率的な利用
											規模については、具体的な土地	に支障なし
											利用計画をもとに必要面積を積	
												利用集積に支障
			<u> </u>								サレ (407、 21女// 7回目 (0)の	77/11米限に入降

											と認められ、除外面積は過大ではない。 また、位置的に水路、道路等と面しており、農作業効率や農地利用集積への支障はない。 申出地は未整備田であるため、土地改良事業が行われておらず、地元自治会及び農業組合等の同意を得ていることから、変更はやむを得ない。	・第5号 土地改 良施設の機能に
8	P8 F	91	7	高 町 月	橋碇	2509番 2510番	田田	1, 188 m ² 1, 035 m ²	m²	▲田 2, 223 ㎡	(浄水場) 申出人は長浜水道企業団であり上下水の管理調整等業務をされている法人である。平成30年完成の長浜水道企業団水道ビジョンによりランニングコストの高い木之本地区の大音浄水場を廃止し、木之本地区へ水道供給をするため高月浄水場の増強を計画された。 土地については、埋設の水道管の新設のコストが高いことから、既存の配管を利用し、かつ浄水場の機能を持たせるため、既存の浄水場に近接する申出地を選定さ	・農業的土地利用に供しない公益性の特に高い事業に係る施設の用に供されるもの(規則第4条の

											10.4	
											れた。	
											この施設は水道法による水位	
											同事業の用に供する施設であり、	
											既設の配管を利用することによ	
											り、必要最小限の面積となるよう	
											に計画されている。	
9	P 9	73	5	木之	石田	1044番	田	727 m²	m²	▲⊞ 9, 219	(工場)	農振法第 13 条第
	G			本 町		1044番1	田	254 m^2		m^2	申出人は創業 90 年を超える産	2項各号該当
				黒田		1045番	田	775 m²			業・医療機器等幅広い分野で用い	•第1号 必要か
						1045番1	田	280 m²			られる高性能繊維製造業者であ	つ適当、代替性な
						1046番	田	975 m²			る。既存事業所の老朽化、また、	l
						1046番1	田	482 m²			駐車場のスペース及び製造後の	•第2号 地蛸
						1048番	田	429 m²			製品資材の保管場所の不足等の	画の達成に支障
						1048番1	田	231 m²			問題を抱えており、解消するため	なし
						1049番	田	445 m²			には十分なスペースが必要であ	•第3号 農業上
						1049番1	田	290 m²			るため、今回の除外を計画され	の効率的な利用
						1050番	田	479 m²			た。	に支障なし
						1050番1	田	307 m²			既存事業所は山際に位置し、す	•第4号 農用地
						1051番	田	576 m²			でに周囲の土地への拡張の余地	利用集積に支障
						1051番1	田	357 m²			がないことから、申出地を選定さ	なし
						1052番	田	540 m²			れた。なお、新工場建築後は既存	•第5号 土地改
						1052番1	田	386 m²			工場を倉庫とするなど、利活用も	良施設の機能に
						1053番	田	597 m²			計画されている。	支障なし
						1053番1	田	466 m²			また、位置的に水路、道路等と	•第6号 土地改
						1054番1	田	318 m²			面しており、農作業効率や農地利	良事業未実施

			1055番1	田	305 m²			用集積への支障はない。	
								申出地は未整備田であるため、	
								土地改良事業が行われておらず、	
								地元自治会及び農業組合等の同	
								意を得ていることから、変更はや	
								むを得ない。	
					計				
					37, 838 m²	0 m^2	▲ ⊞ 37, 503		
							m^2		
							▲畑335 m²		